

# あざみ沢通信

第27号

H26年度第2号  
長野県野沢北  
高等学校  
PTA広報委員会



## 卒業生の皆さんへ

平成26年度PTA会長 澤井 誠

PTAを代表して一言ご挨拶をさせていただきます。  
三年生の皆さん、ご卒業おめでとうございます。

また、保護者の皆様には、この日までの間時には厳しく、時には優しくお子様を励まし、支えられ、今日の日を迎えられましたことをお祝い申し上げます。

そして、校長先生をはじめ諸先生方におかれましては、生徒達を此処まで温かく、また厳しく、導いてくださったことに卒業生と保護者に変わりまして心より御礼申し上げます。

さて皆さんはこの野沢北高校で何を学ばれたでしょうか？ 学業や班活動、他にも色々学び考えてきた事でしょう。これまではご両親に守られ先生に守られ学校という安全なカゴの中で、学生という肩書きによって文字どおり『加護』を受けて参りました。しかしこれからは一人前の大人と成るべく責任と自覚を持って行動することが求められます。

しかし近年世界では、フランス国内におけるテロなど、先の見えない混沌とした状況にあります。皆さんは非常に厳しい環境に身を投じることになります。時には『辛抱』や『忍耐』という経験を積むこともあるでしょう。そんな状況の中でも、皆さんが夢を持って、その夢までいかにして

到達するかを強く心に思い描けば、必ず道は開けます。努力も忍耐も、結果としては、素晴らしい経験となつて皆さんの中に蓄積されていくことでしょう。これまでの学校生活で学んで来たことが、『知識』だとすると、これから先の人生で『経験』が皆さんを格段に豊かな人間にしてくれます。こんな時代だからこそ、どうか皆さん恐れず怯まず、前向きにチャレンジしてください。どんな経験も必ず皆さんを育ててくれます。

これまでの高校生活は社会に出るの為の準備です。高校を卒業し新しい生活が始まると多くの人がまったく新しい人間関係を築いていくこととなります。これは、大変なストレスに成る事ですが、君達が一人で努力し解決していくことです。初めは戸惑い悩み困惑すると思います。ですが、皆さんはすでに何度も同じことを繰り返してきた事を思い出してください。この野沢北高校に入学した時も同じような不安があったと思います。ですが皆さんの周りには仲間が大勢います。

そこで自分だけでは、無理な時には、友人や親、先生や先輩方など君達の周りの人に相談してみてください。一人で出来る事より、周りに居る多くの人と一緒の方がより良くより大きな事が出来るでしょう。皆さんは、一人ではなく周りに君達の事を見守ってくれる人々が居ると心に留めて、これからの新しい生活を愉しんでください。



## 水を飲む馬

長野県野沢北高校校長 西沢 宏

かなり前に部活動顧問をしていた頃、他校の顧問から「先生の学校の生徒は、本当によく水を飲む馬だ」と言わ

れたことがあります。何でも吸収しようとする意欲がある子ども達だという褒め言葉であると同時に、だからもっと強くなれるはずだという意味で、指導力のない私への叱咤激励の言葉でもありました。この一年間、生徒の皆さんを見てきて、北高生はまさに「よく水を飲む馬」だと感じています。陸上・ソフトテニス・水泳・棋道班が全国大会に出場したのをはじめ好成績を収めた班活動、厳しい日程の中で準備をして日輪祭等の行事を成功させた生徒会活動、そして、日々の授業をおろそかにせず真摯に学習に取り組む姿勢、それらを見るにつけ、その思いを強くしました。

しかし、その一方で、「馬を水辺に連れて行くことはできるが、水を飲ませることはできない (You can take a horse to the water, but you can't make him drink.)」という諺があることも想い起しました。私たち教師は、生徒は水を飲みたがっているのだから、水辺に連れて行きさえすればいいと思込んでいないか。水辺に辿り着くまでに疲れ切ってしまう、飲みたくても飲めない状態になってはいないか。そもそも、水辺まで本当に導いているだろうか、もしかししたら、水辺ではなく、蜃気楼だったのではないか。生徒を導く立場の私たちが、自らにそう問いかけて続けなければならぬと思っています。

そんな意味で、今年度実施した匿名性を担保した授業評価(生徒対象)・学校評価(保護者対象)のアンケートは、私たちの教育活動を振り返り、授業改善や緒活動の見直しにつなげるきっかけになるものです。今年度もさまざまな貴重なご意見をいただきましたが、生徒たちが意欲的に高校生活を送ることができる学校をつくるために、次年度以降もご協力をお願いします。

終わりにになりましたが、卒業生の皆さん、ご卒業おめでとうございます。皆さんは、北高の水を飲んで、一日千里走る名馬となりました。これからは、なかなかいないと言われる伯楽(名馬を見分ける力を持つ人)との出会いを信じて、長い旅を楽しんでください。

PTA教養委員会主催行事

# 『ジャザサイズ』 のご報告



快晴に恵まれた平成26年11月15日(土)の午後、本校小体育館でPTA教養委員会主催行事の『ジャザサイズ』が行われました。昨年から引き続き相米友紀氏を講師としてお招きしました。校長先生を初めとし、約42名の参加者のみなさんがおよそ2時間に渡ってジャザサイズに取り組み、気持ちのいい汗を流しました。

多くの方のご参加、ありがとうございました。来年度もPTA会員の皆さんが楽しく参加できる行事を計画したいと思います。



## ジャザサイズに参加して | 教養委員 山崎 明宏

11月15日に、ジャザサイズの講習会が行われました。高校になるとあまり学校と父親との関わりも無かったので、とても良い機会でした。

13時からでしたが、土曜授業と言うこともあり、私が着いた頃には、まだ沢山の生徒がいました。校舎の中に入っていくと、男子、女子の生徒共に、挨拶をして頂き、少し驚いたと共にとても気持ちが良かった。

今回、ジャザサイズを教えて頂く、インストラクターの相米先生ですが、小柄でハキハキとした如何にもフィットネスの先生と言う感じでした。その先生が壇上で実際に踊りながら指導して下さる、テンポの速い音楽に合わせて簡単なステップから始まったが、すぐに上半身と下半身の動きがバラバラになり、気持ちは、かなり足も上げているつもりなのに、グダグダ、なのにインストラクターの先生はニコニコしながら要求することは、かなりハードな事を求められ、始まって10分もしないうちに汗が出始めた。ふと頭を上げると一番前で、校長先生もかなり苦戦しながら頑張っておられた、私も負けてはいけなくて気持ちだけは、軽快に足を上げていた。30分ほどすると、マットを使ってのフィットネスとなった、横になってするのなら、今までよりラクになると思っていたのは大間違い、それはかなりハードな筋トレだった。それも仰向け腕立て伏せや横向き腹筋などありえない体勢の物だった。でも寒くなってきて最近運動不足だなどと思っている方に最適です。また体を鍛えたい方筋肉を付けたい方がいかがでしょうか。

## 施設広報委員 高見澤 一富

昨年11月に行われました「ジャズサイズ」のエクササイズに初めて参加させていただきませういただきました。

音楽に合わせて一緒に体を動かすことは、音楽も速いですとてもハードでした。それでも、皆さんと合わせなければいけないと一生懸命がんばって踊りました。

先生方の動きについていくことも必死でがんばってついていけないと思いがんばって踊りました。

久しぶりに心地よい汗をかき、楽しい時間を過ごすことができとてもよかったですと思いました。

最後に相米友紀先生をはじめインストラクターの皆さん、そして参加された皆さんありがとうございました。また、このような機会がありましたら参加してみたいと思います。



2学年

# 沖縄修学旅行

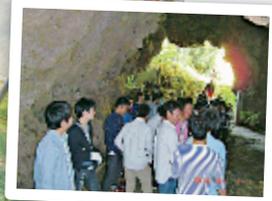


那覇空港に着くとそのまま青年会館へ、修学旅行は平和講演会から始まりました。6名の方にいらしていただき、戦争経験者から生の声を聴くことが出来ました。中でも、仲里ハルさんは沖縄戦のことを涙ながらに話してください、その悲惨さや平和への思いなどを感じました。この日の夜は国際通りで自由行動。野菜チャンプルーと沖縄そばは、なかなかでした。

2日目は平和学習ということで、平和記念公園、ひめゆり平和資料館、そしてガマを見学、その後首里城、嘉手納基地も見ました。沖縄で一番大きい嘉手納飛行場は高いところに登っても端が見えないくらい広く、沖縄県民の生活を圧迫しているのだなと思いました。この日は希望が丘という地区のペンションに泊まりました。

3日目は観光の日で、午前中は4つのコースに分かれました。僕はやんばる自然体験コースに参加しました。初めはカヌー体験。まっすぐ進むのがとても難しく、ほかのカヌーや岩に衝突して大変でした。次はガイドさんのお話を聞きながら、マングローブ林を見て回りました。多様な生物がすんでいることや樹木のお話を聞いて素晴らしい自然が残されているのだなあとと思った一方で、マングースやごみのことを知り、悲しくなりました。午後は海洋博公園（美ら海水族館）を見て、宿舎へと戻りました。

4日目は佐喜真美術館を見学。「沖縄戦の図」は描写がとても凄かったです。そして那覇空港へ。かくして修学旅行は終わりました。様々なことを感じ、考えさせられる旅行でした。 2年6組 旅行委員 記



## <主な日程>

- 11月3日 新幹線にて佐久平駅出発 羽田空港より那覇空港へ 那覇で平和講演会聴講
- 4日 平和の礎にて平和セレモニー開催  
県立平和祈念資料館見学 壕の見学 ひめゆり資料館見学 首里城公園見学
- 5日 マリン体験 美ら海水族館見学
- 6日 佐喜真美術館見学 那覇空港より羽田空港へ バスで帰校

# 学習合宿 松代地下壕見学

## 学習合宿に参加して

私たち一年生は、11月に、松代で学習合宿を行いました。

開講直後の比田井和孝先生の講演では、やり方よりも在り方が大事だということや、未来の空白を希望で埋めて、様々なことに挑戦していこうというお話しをしていただきました。これからの学習に向かう姿勢を見つめなおす、とてもよいきっかけとなりました。

いつもより長い、80分授業は、集中力を保つのが大変でした。しかし、一気に授業が進むことで、達成感がありました。また、一日中勉強しかしない環境におかれていたおかげで、生徒同士で勉強を教え合う光景が数多くみられました。三日間同じ生活ができました。特に英語のデイヴェートでは、同じグループのメンバーと話し合う機会が多く、お互いに相手の新しい一面を知ったと思います。

最終日には、松代大本宮の見学をしました。事前に、情報の授業で、松代大本宮や十五年戦争、沖縄戦についてのレポートを書いていたので、ガイドさんの説明はすんなりと頭に入ってきました。地下壕は思っていたよりも広く、長く、まっすぐで、当時の日本の技術力の高さを感じました。壁を見るとあちこちにドリルの跡がくつきりと残っていて、今からおおよそ70年も前に作られたのに、当時の作業員の方々の苦労や辛さが伝わってくるようでした。

学習合宿を通して、私は多くのことを学びました。それらを忘れずに、これからの生活に生かして、励んでいきたいと思っています。



一年一組 井出彩音



理科

# 課題研究 発表会



## 課題研究を通して 失敗から得たこと

2年6組 秋山 柚貴



本校理数科は、2年次で課題研究というものを行う。班ごとにテーマ、目標を定め半年程度かけて研究をする、というものである。

今回、課題研究を通して感じたことは、研究は骨が折れる、ということだ。まず、なかなか思い通りの結果が出ない。まあ、それが研究の醍醐味なのかもしれないが、そうはいっても…やはり失敗し続けると萎えるものだ…。

また、研究をしていると、本当にどうしようもなくなってきた時があった。自分の期待と結果が大きく違い、その原因が全くわからない時だ。例えば、私の班で、ネットの映像の再現をしようとした時である。重要な所だったので、気合を入れておこなった。しかし、どうしてもネットの映像のようにならない。条件を色々変えてやっても、うまくいかなかった。

まさに、詰んだ、という状況だった。

心折れかけたが、それでも班員や先生方とで沢山考察し、解決策をひねり出した。結局、ネットのように出来なかったが、妥協しつつもだいたいそれに近づけることができた。完全に映像を再現するのは失敗したものの、自分たちなりの成功を導けたのだ。

失敗は多かったし、苦勞もした。しかし、今回、そんな失敗、苦勞は無駄になっただかと言え、それは違う。失敗したからこそ気付けたことが多い。また、苦勞の分うまくいった時の喜びは爆発的であった。そして、その失敗や苦勞が必ず何かしらの成果を生み出してくれると、学ぶことができた課題研究であった。

# 強歩大会

## 男子優勝者

二年六組 菅原 憲二

僕の強歩の目標は、ほかの班の人に負けないことでした。一年間この強歩大会のために全てをかけて練習してきたので、負ける訳にはいきませんでした。

スタートの前は、強歩大会なのになぜか緊張して、お腹が痛くなったらどうしようとか足ついたらどうしようとか不安で一杯でした。

最初から先頭で走るぞと思って、スタートダッシュした三年生について行ったら、そこでだいぶ体力を消耗してしまっ、登りはとてもきつかったです。途中で足が重くなり、ペースが落ちてきて、ちょうど去年抜かされてしまった所と同じところで抜かされてしまった時には、これはだめかもしれない、とも思ったのですが、去年の悔しさを思い出して、もう一回気持ちを切り替えて走りました。

帰りは、下り坂で後ろと差をつけようと思ってかなり飛ばして走りました。

坂が終わって、平坦になってからゴールまでの道は、もう足も限界に近かったのですが、早く家に帰りたいと思いつつ、最後の力を振り絞って何とか走りきれました。すれ違う時にたくさん声をかけてくださって、とても元気が出ました。ありがとうございました。

来年は三年生らしい強歩にしたいと思います。一・二年生のみならず来年も頑張りましょう！

女子優勝者は

三年二組小宮山悠さんでした。



# 会員の声



## 本年度施設広報委員の皆様

### 息子の成長とともに

中澤 弘枝

野沢北高等学校に入学し、早くも二年の月日がたとうとしています。小学校の頃から野球を始め、中学の野球部を引退後、どの高校に入っても野球を続けると決めていたようです。高校が野沢北高等学校に決まり、班活と勉強の両立ができるのかと心配でした。一年生の時は、学校から帰って来たなと思ったら、玄関先やお風呂で寝ていた事もありましたが、それでも学校から出た課題だけは夜おそくまでやっていました。さすがに二年生になれば、体力的にも、精神的にも少し余裕ができて、一廻り大きく成長した様に思います。朝練をやり、昼間はもちろん、授業を受け、そして夜遅くまで自主練をやって帰って来ますが、毎日毎日同じ事の繰り返しで、よく頑張っているなと感じます。家ではいつも、野球の話題がほとんどです。普通、特に男の子は、家に帰って来てもあまり会話がなっていないと思っ

### 一年を振り返って

篠原 芳紀

平成26年度、佐久町、白田支部の施設広報委員となりました篠原です。委員としての活動も特にはしていませんでしたが、「あざみ沢通信」原稿の依頼が届き、寄稿することになりました。そこで、1年間を振り返り、私の感じたことを書きたいと思います。

長野県では、この1年間多くの自然災害に見舞われました。2月には記録的な大雪があり、交通機関は麻痺し、物流はストップ、食糧、ガソリンも入手困難な状況となりました。7月には台風8号による南木曾町での土石流が発生し大きな被害がありました。9月には御嶽山の噴火により戦後最悪の火山被害が発生しました。11月には白馬村を震源とした、長野県神城断層地震が発生し、家屋や道路に多くの被害を与えました。この多くの災害では東日本大震災の時に話題になった「想定外」の被害だったように思われます。しかし、東日本大震災以降、国内では「想定外」は許されない、理由にならないという風潮になってきています。防災、減災に多くの予算が投入され、考えられる全ての被害を回避しようと日々考えられています。生徒達も、数年後にはこの厳しい社会に入っていくかなければならないという大変な時代だと感じました。

一方で、嬉しいニュースも沢山ありました。二山治雄さんのローザンヌ国際バレエでの優勝、川上村出身で本校の卒業生でもある油井亀美也さんの国際宇宙ステーション長期滞在決定、そして松本山雅のJ1昇格等です。これらは、私達を元気にしてくれる素晴らしいニュースでした。頑張って、努力して、夢を成し遂げ、更に周りに居る人達を幸せにしてくれました。本当に素晴らしいことだと思えます。しかし、夢を成し遂げるためには本人だけでなく、周りにいる多くの人達からの応援があったからだと思います。松本山雅は、2014年度J2での観客動員数トップでした。私も何度か観戦に行きましたが、サポーターが主役と感じられるような凄い応援でした。進路については、生徒本人が主役であり、本人が頑張ら

なければなりません。しかし、私達保護者も生徒達をいろんな面からサポートし、応援して夢を成し遂げられるように協力していきたいと考えています。

### 一冊の本に出会って

松本 裕子

皆さんは最近、本を読んでいますか。私はここ五年程、歴史小説にはまっています。きっかけは、現在大学四年になる長女に薦められて読んだ、浅田次郎作「壬生義士伝」という本に出会ったことからです。幕末、京都で活躍した新選組の隊士の話なのですが、こんなに感動し、泣いた本は初めてでした。それまでは歴史には特に興味も無かったのですが、その時代のこと、背景やら人物やら「もっと知りたい」という気持ちが湧いてきました。小さな頃から本は好きでしたが、子育てや仕事に追われ、すっかり本というものから遠ざかっていました。この本をきっかけに本への興味が再燃したのです。

それからは幕末から明治にかけての歴史小説を、色々な作家が史実を元に、様々な視点から書いた本を読み、今は戦国時代にまでさかのぼり読み漁っています。それぞれの時代に活躍した人物から教わることも多く、自分の人生や考え方に置き換えたりして刺激を受けています。

歴史を知るにつれて学生時代、どうしてもっと勉強しておかなかったんだろうかと、今更ながら悔やまれるところではありますが、イヤ、まだ遅くない、子育ても一段落しつつある今でこそ、自分の興味があること、知りたいことを学べるんじゃないかな、と思ってもいいです。

本をきっかけに、これからは、歴史の舞台となった場所を、時間をかけてあちこち巡ってみたいと思うようになりました。一冊の本と出会ったことで（大げさですが）自分のこれからの人生の「張り合い」みたいなものを見つけられたように感じています。そんな一冊の本に出会えたことに感謝しつつ、皆さんにもぜひ本の楽しさをお伝えしたいと思い、書かせていただきました。

# 我らが先輩 油井亀美也さん いよいよ宇宙へ



高見澤同窓会長さんより激励の花束贈呈



1月10日川上村文化センターにて行われた壮行会の様子です。  
 順調にいくと本年5月にカザフスタン共和国のバイコヌール宇宙基地よりソユーズ宇宙通船にて打ち上げられ国際宇宙ステーション（ISS）にて各種実験を含め幅広い活動を行い6ヶ月後の11月頃帰還予定とのことです。  
 ISSと地上との交信イベントも予定されており本校も企画を練り申し込んでいる状況です。  
 もし本校と交信ができるならばすばらしいイベントになることでしょう。いずれにしても健康に留意され無事このミッションが成功されることを出身校としてみんなで応援したいものです。

## 油井宇宙飛行士壮行会に出席して …………… 生徒会長 山浦 大悟

1月10日に川上村文化センターで行われた、油井亀美也宇宙飛行士の壮行会に、生徒会役員3名と一般生徒から希望者3名で参加してきました。その時の様子を報告させていただきます。

この壮行会には会場に入りきれない程の人が集まっていました。やはり油井さんを目撃しようという方がたくさんいたのでしょう。壮行会の内容としては、油井さんの母校である川上村の小学校や中学校、油井さんの同級生の方々からの応援の言葉や歌の発表がありました。また油井さんが宇宙飛行士になるまでの過程も知ることができました。その中で油井さんは小さい頃から宇宙飛行士を目指していたという話を聞いて、夢というのは諦めず追いかけていけば、きっと叶うんだと思いました。油井さんが夢を叶えるまでとてつもなく努力してきたと思います。改めてすごいと感じました。

また壮行会が終わった後に教頭先生が時間を確保してください、すごく短い時間でしたが「ミッション頑張ってください。」と一言伝えられて、握手をしてもらいました。油井さんの手は大きくて、温かくて、そして力強く握ってくださいました。本当に貴重な経験になりました。

油井さんは今年の5月に宇宙へ飛び立ちます。野沢北高校の卒業生から宇宙飛行士が誕生することは本当に偉大なことであるし、自分たち後輩からも尊敬の気持ちでいっぱいです。ぜひ野沢北高校一同、この地球から油井さんのミッション成功を祈って応援しましょう！



今後の予定

- 平成 27 年
- ・ 2月中旬～ GCTC(モスクワ郊外)での訓練
- ・ 3月中旬～ JSC(ヒューストン)での訓練、訓練公開、記者会見
- ・ 4月上旬～ ESA(ドイツ・ケルン)での訓練
- ・ 4月中旬～ GCTCでの訓練、最終試験、記者会見



### 油井飛行士インフォメーション

新米宇宙飛行士最前線 : <http://iss.jaxa.jp/astro/report/column/>  
 宙亀日記 : [http://iss.jaxa.jp/iss/jaxa\\_exp/yui/sorakame/](http://iss.jaxa.jp/iss/jaxa_exp/yui/sorakame/)  
 Twitter : [https://twitter.com/Astro\\_Kimiya](https://twitter.com/Astro_Kimiya)



# 班活動の大会結果

今年度の秋以降に行われた、高野連・高体連・高文連・各種選抜大会などの長野県大会以上の結果を中心に紹介します

## 運動班

### ◆野球

＜秋季北信越高校野球県大会＞  
1回戦 対北佐久農 4-7

### ◆陸上

＜新人戦県大会＞  
(女子)  
金田華実  
100M 優勝 200M 優勝  
金田・酒井・土屋・住友  
1600R 優勝  
金田・関・土屋・酒井  
400R 優勝

＜新人戦北信越大会＞  
金田華実  
100M 4位 200M 4位  
金田・関・土屋・酒井  
400R 5位

＜長野県高校駅伝＞  
男子 24位

### ◆剣道

＜新人戦県大会＞  
(男子)  
団体戦  
1回戦 対伊那北 勝  
2回戦 対松商学園 負  
個人戦 由井涼也 出場

### ◆テニス

＜新人戦県大会＞  
(男子)  
団体戦  
1回戦 対市立長野 1-4  
(女子)  
牧野優里香 1回戦 勝  
2回戦 負  
大塚萌恵 1回戦 負

### ◆ソフトテニス

＜新人戦県大会＞  
(男子)  
団体戦  
1回戦 対松本蟻ヶ崎 勝  
2回戦 対上伊那農 負  
個人戦 小山大地 出場  
(女子)  
団体戦 ベスト8  
1回戦 対大町 3-0  
2回戦 対長野商 2-0  
3回戦 対岩高・小諸 1-2  
個人戦  
岡島・中村 ベスト8  
小林・安藤 ベスト8  
＜選抜県大会＞  
(女子)  
団体戦 第3位  
1回戦 対伊那弥生ヶ丘  
2回戦 対塩尻志学館 2-0  
準決勝 対松商学園 1-2  
代表決定戦対上伊那農 1-2  
個人戦 小林・中村 準優勝

＜選抜北信越大会＞  
個人戦  
小林・中村 2回戦 勝  
3回戦 負  
ベスト16

### ◆バスケットボール

＜新人戦県大会＞  
(男子)ベスト16  
1回戦 対松本深志 88-55  
2回戦 対赤穂 76-78  
(女子)ベスト16  
1回戦 対都市大塩尻 95-38  
2回戦 対東海大三 59-86  
＜選抜県大会＞  
(男子)ベスト8  
1回戦 対飯田 85-56  
2回戦 対市立長野 69-78

(女子)ベスト16  
1回戦 対上伊那農 57-87

### ◆バレーボール

＜新人戦県大会＞  
(男子)  
1回戦 対伊那北 0-2  
(女子)  
1回戦 対東海大三 0-2

### ◆ハンドボール

＜新人戦県大会＞  
(男子)  
1回戦 対木曾青峰 21-15  
2回戦 対長野南 22-30  
(女子) 準優勝  
準々決勝 対松本美須ヶ丘 26-8  
準決勝 対木曾青峰 26-18  
3位決定戦 対長野南 22-27  
＜選抜県大会＞  
(女子) 3位  
対上田 18-23  
対木曾青峰 21-17  
対長野南 27-7

### ◆卓球

＜新人戦県大会＞  
(男子)  
団体戦  
1回戦 対都市大塩尻 1-3  
シングルス  
佐藤宏保 出場  
西村龍哉 出場  
土屋洸太 出場  
(女子)  
団体戦  
1回戦 対辰野 3-0  
2回戦 対大町 2-3  
シングルス  
新津雅美 出場

伊田みちる 出場  
小林涼香 出場  
佐々木咲良 出場

### ◆バドミントン

＜新人戦県大会＞  
(男子)  
団体戦 ベスト8  
2回戦 対松本深志 3-2  
3回戦 対松商学園 1-3  
シングルス 山岸漱太郎 出場

### ◆弓道

＜新人戦県大会＞  
(男子)  
個人戦 平出拓未 出場  
(女子)  
個人戦 高橋里歩 出場

### ◆水泳

＜新人戦県大会＞  
(男子)  
小林春輝 200m自由形 10位  
荻原 岳 200m平泳ぎ 10位  
200m R 7位  
400m R 7位  
200mMR 8位  
(女子)  
池添梨花 100m自由形 4位  
200m自由形 6位  
400m自由形 8位

### ◆空手

＜新人戦県大会＞  
(女子)  
個人形 菊池奏海 出場

### ◆サッカー

＜選手権大会＞  
2回戦 対田川 1-3

## 文化班

### ◆棋道班

＜長野県新人将棋選手権大会＞  
(男子)  
団体戦 1勝3負  
個人戦A  
大塚翔太 高見澤幹  
星野来季 出場  
個人戦B  
荒井晃彦 市川雄大  
羽毛田航暉 出場  
(女子)  
個人戦  
竹花和 4位 全国大会出場  
田中聖愛 森美月 伊藤美味  
山崎麻純 櫻井真実 出場  
団体戦 準優勝

＜全国高等学校文化連盟  
将棋新人大会＞  
個人戦 竹花和  
予選リーグ3勝2負

### ◆英語

＜長野県高校生  
英語ディベート大会＞  
2チーム出場 22位 23位

### ◆クイズ研究会

全国高校生大会 予選出場

### ◆美術班

県高等学校美術展  
小林愛実 飯島葉月  
日向春華 中野和志  
小山朋泉

## 編集後記

### 祝 御卒業

あせるな  
おこるな  
いばるな  
さるな  
まけるな



この野沢北高校で学んだことを胸に元気に羽ばたけ！

(いでち)